



田植えに挑戦する千里小5年生の児童

大きく育てヒメノモチの苗

千里小5年生が田植えに挑戦

千里小学校5年生の児童10人は5月21日、アグリいな田んぼで田植え体験を行いました。

児童は、アグリいな職員から田植えの方法を教わった後、はだしになって田んぼに入ると「思ってたよりも水が温かい」「足の裏が気持ち悪い」などと大きな歓声をあげていました。児童は手足を泥だらけにしながら、ヒメノモチの苗を約5畝の田んぼに丁寧に植えました。

県大会での活躍誓う

猪苗代スポ少ソフト部会津地区大会準優勝報告

猪苗代スポ少ソフトボール部6年生の五十嵐龍生主将、高野一成さん、鈴木飛翔さん、渡部海希さん、古川千菜さんは5月15日、町役場を訪れ、宇南山忠明教育長に県総体スポ少の県大会出場を報告しました。古川勇一監督が同行しました。宇南山忠明教育長は「自分の力を信じて、優勝目指して頑張ってほしい」と激励しました。同部は5月4、5の両日、柳津町で開かれた会津地区大会で準優勝し、3年ぶり2回目の県大会出場を決めました。



宇南山教育長(後列左)に県大会出場を報告した前列左から鈴木、高野、五十嵐、古川、渡部の各選手

桜を通じて交流を誓う

日本・フィリピン友好親善さくらの記念植樹祭

「日本・フィリピン友好親善さくらの記念植樹祭」は4月24日、ホテルリステル猪苗代で行われました。式典では、国際親善さくらの記念植樹祭実行委員会の鈴木長治実行委員長が「30年後には地域の名所となってほしい」とあいさつ。フィリピンのホセ・カスティーリ・ラウレル5世大使が「両国の交流が深まることを願います」と述べました。鈴木実行委員長や前後公町長らがシダレザクラの若木を植え、さらなる交流を誓い合いました。



シダレザクラの若木を植樹する関係者ら

日ごろの訓練の成果を披露

町消防団春季検閲を挙行

町消防団春季検閲は4月29日、猪苗代小学校校庭で行われました。消防団員ら約430人が参加し、町役場から中央通商店街を通り、猪苗代小学校まで分列行進しました。

検閲では、前後公町長を検閲官に通常点検を行い、各団員らがきびきびとした態度で規律訓練など日ごろの訓練の成果を披露しました。五十嵐幸夫団長は「消防団としての自覚を持ち、予防消防や日ごろの訓練に取り組んでほしい」とあいさつを述べました。



分列行進する消防団員



平昌冬季パラリンピックを振り返る鈴木選手(右)

メダル獲得に向けて飛躍誓う

本町出身の鈴木猛史選手が表敬訪問

3月に韓国で開かれた平昌^{ピョンチャン}冬季パラリンピックに出場した鈴木猛史選手は4月27日、町役場を訪れ、前後公町長と宇南山忠明教育長に結果を報告しました。鈴木選手はアルペンスキー男子座位の5種目に出場し、回転と大回転で4位入賞を果たしました。鈴木選手は「今回、引退を考えたこともありましたが、このままでは終われません。次のパラリンピックでは、町民の皆さんにメダルを見せたいです」とさらなる飛躍を誓いました。

桜の成長を喜ぶ

女優の草笛光子さんが来町

NHK大河ドラマ「八重の桜」でナレーションを担当した女優の草笛光子さんと内藤慎介NHKエグゼクティブ・プロデューサーは5月25日、びわ沢原森林公園を訪れました。草笛さんが理事を務める一般社団法人福志会(東京都)では、「ふくしまサクラ Moriプロジェクト」の一環として同公園内に桜を記念植樹しており、ヤエザクラなどの成長を確かめました。草笛さんは「空気が元気でみんな元気ですね」と話しました。



桜の成長を確かめる草笛さん(左)

古里に思いをはせる

東京猪苗代町民会総会・懇親会

首都圏などに住む猪苗代町出身者でつくる東京猪苗代町民会(坂直孝会長)の総会は5月13日、東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれ、会員や前後公町長ら約90人が出席しました。引き続き開かれた懇親会では、猪苗代民謡伝承会による民謡やソプラノ歌手の津金久子さんによる歌声が披露されました。また、猪苗代民謡伝承会のおはやしで会津磐梯山を踊り、交流を深めました。



「会津磐梯山」を踊り、交流を深める出席者

学校を舞台に芸術祭

「ウォールアートフェスティバル」11月に開催

猪苗代青年会議所創立40周年記念事業「ウォールアートフェスティバル」の事業説明会は4月20日、町役場で開かれました。11月に開催される同フェスティバルでは、翁島小、吾妻中、猪苗代高校の教室一面に絵画や写真などの作品を飾ります。

説明会の前には絵本の寄贈式が行われ、NPO法人ウォールアートプロジェクトのおおきこ理事長が宇南山忠明教育長らに絵本「パリプルナジャングル」を贈りました。



宇南山教育長らに絵本を手渡すおおきに理事長(右)



リゾートスキー場のゲレンデを駆け上がる参加者

新緑の中を激走

ゲレンデ逆走マラソン今季開幕戦

ゲレンデ逆走マラソンの今季初戦となる「山頂がゴール！残雪＆猪苗代湖一望レース」は5月6日、猪苗代リゾートスキー場で行われました。レースには、県内外から約340人が参加し、10㌔と5㌔の2部門で熱戦を繰り広げました。ゲレンデ逆走マラソン実行委員会が主催し、今年で8年目となります。

参加者は、新緑のコースを楽しみながら、猪苗代湖を背にしてスキー場のゲレンデを思い思いのペースで駆け上がりました。

創立 40 周年を祝う

猪苗代青年会議所創立 40 周年記念式典

猪苗代青年会議所創立40周年記念式典は4月21日、学びいなで行われ、約180人が出席しました。

式典では、渡部一登理事長が「地域に恩返しをしています」とあいさつ。佐久間弘元県会津地方振興局長、前後公町長らが祝辞を述べました。席上、渡部理事長が35代理事長の一ノ瀬千香さん、36代理事長の別府一了さん、37・39代理事長の楠恭信さん、38代理事長の佐藤弘一さんらに感謝状を手渡しました。



記念式典であいさつする渡部理事長

身近な植物の理解を深める

「春の草花観察 in 亀ヶ城」

「春の草花観察 in 亀ヶ城」は5月12日、亀ヶ城跡周辺で行われ、町民ら約20人が参加しました。

講師の会津生物同好会員の本多隆さん(古城町)が毒草と食べられる野草の見分け方を標本を使用して説明した後、亀ヶ城跡周辺を散策しながらニリンソウやシャクなど多種多様な植物を約2時間かけて観察しました。参加者は、身近にある植物の理解を深めました。



亀ヶ城跡周辺の植物を観察する参加者ら

町営磐梯山牧場で「さくら祭り」

「まきばのさくらロードさくら祭り」を開催

「まきばのさくらロードさくら祭り」は4月29日、町営磐梯山牧場で開かれました。翁島地区の旅館、ホテルのおかみらでつくる「おかめの会」と町商工会翁島支部が主催しました。

おかめの会によるこづゆの振る舞いが行われたほか、青木宗寛社中の野だてやいなわしろ民話の会の民話の語り、猪舞連のよさこい踊りなどが行われました。会場を訪れた人たちは、磐梯山と猪苗代湖の眺望を楽しみながら、春のひとときを過ごしました。



こづゆを振る舞うおかめの会メンバー(左)



ガーナの民族音楽「ティガリ」を披露するアクアバのメンバー



野口博士の功績をしのび焼香する前後町長

野口博士の功績をしのぶ

野口英世博士 90 回目の命日祭

野口英世博士の90回目の命日に当たる5月21日、野口家の菩提寺である長照寺で命日祭が行われました。命日祭は野口英世記念会が主催。日本とガーナの関係者約70人が出席しました。

命日祭を前に、次期駐日ガーナ大使のフランク・オチェレ氏が「野口博士のガーナ滞在は短期間でしたが、博士は多くの輝かしい功績を残しました。博士の功績は、ガーナのみならずアフリカの人たちのためになっています。ガーナでは偉大な人が亡くなると音楽を演奏します」とあいさつ。続いて、ガーナの音楽グループ「アクアバ」がトーキングドラムなどを演奏し、死者をたたえるガーナの民族音楽「ティガリ」を披露しました。

命日祭では、長照寺の楠俊道住職が読経し、野口英世記念会の八子弥寿男理事長や前後公町長らが焼香し、博士の遺徳をしのびました。

また、野口英世記念会では同日、野口英世至誠館で講演会を開き、大玉村出身でペルーの初代マチュピチュ村長を務めた故野内与吉氏の孫、野内セサル良郎さんが野口博士と祖父与吉氏のペルーでの功績を紹介しました。

看護の心をみんなの心に

道の駅猪苗代で「看護の日」イベント

町立猪苗代病院は5月11日、「看護の日週間」の取り組みの一環として、道の駅猪苗代で「看護の日」イベントを開きました。

イベントでは、血圧や骨密度の測定、重本心平医師による歯科口腔外科相談などの特設コーナーが設けられ、会場を訪れた人たちは自分の健康状態を確認していました。また、会場では、阿部えみさんとえみフラスクールの皆さんによるフラダンスが披露されました。



血圧や骨密度の測定などを行う来場者ら

みんなの公園をきれいに

除夜の鐘つき実行委員会が清掃活動

本町五区青年部の有志でつくる「除夜の鐘つき実行委員会」は4月15日、亀ヶ城公園周辺の清掃活動を行いました。清掃活動には実行委員会のメンバー14人が参加。桜まつりが開催される前に除夜の鐘つきで出た炭の燃えかすなどのゴミを拾おうと、雪解けを待って実施しました。

渡部大介実行委員長は「亀ヶ城公園を訪れる皆さんに気持ち良く過ごしてもらえれば」と話しました。



清掃活動を行った実行委員会のメンバーら